

化学委員会 IUCr 分科会 (第 24 期・第 4 回)・物理学委員会・化学委員会合同結晶学分科会
(第 24 期・第 4 回) 合同分科会事録

日時：令和元年 12 月 26 日 15 時 30 分～16 時 25 分

場所：日本学術会議 5 階会議室 5-A(1)

出席者：阿久津典子[†]、井上 豪^{†,*}、上村みどり^{†,*}、栗原和枝^{†,*}、黒田玲子^{†,*}、小島優子[†]、小林昭子[†]、
佐々木 園[†]、菅原 正[†]、菅原洋子^{†,*}、高田昌樹^{†,*}、西野吉則^{†,*}、高原淳^{†,*}、森吉千佳子[†]、
山縣ゆり子[†]

欠席者：奥部真樹^{†,*}、村上洋一[†]、森 勇介^{†,*}

([†]結晶学分科会委員、*IUCr 分科会委員)

議題：

1. 前回の議事録の確認

化学委員会 IUCr 分科会 (第 24 期・第 3 回)・物理学委員会・化学委員会合同結晶学分科会 (第 24 期・第 3 回) 合同分科会議事録 (案) の確認を行った (資料 1)。

2. 化学委員会 IUCr 分科会

1) IUCr2020 関連

- ① IUCr2020 より新設される Bragg Prize について、生物構造学分野の応募者 1 名のサポートを行ったことが高田委員長より報告された。
- ② 日本学術会議の 2020 年度代表派遣申請について、IUCr 総会出席代議員男女各 2 名の申請を行うことが高田委員長より提案され、承認された。なお、代議員に所用が生じて総会への出席が難しくなった場合、代理出席の依頼が必要になる場合もあるので、IUCr2020 に出席予定の委員は菅原 IUCr 分科会幹事に連絡を頂きたい旨、依頼があった。
- ③ IUCr 次期会長・副会長・財務担当理事・理事の追加推薦に係り、IUCr 国内員会宛に届いたサーキュラー (Circular P/NC 1901 from the IUCr President (当日配布資料)) が高田委員長より報告された。追加推薦は IUCr2020 会期内に開催される総会の 1 カ月前までに事務局へ提出すればよく、検討を進める。
- ④ IUCr2020 のスケジュール (2020 年 8 月 22～30 日) が高田委員長より報告された。また、藤田誠氏 (東大教授)、柴山充弘氏 (東大教授) らが Keynote Speakers に選出されたことが報告された。

2) AsCA2019 関連

2019 年 12 月 17 日～20 日にシンガポールで開催された AsCA2019 の総会において次期会長として Xiao-Dong Su 氏 (現副会長)、副会長として栗栖源嗣氏 (日本の AsCA 評議員) が選出されたこと、AsCA2022 開催地は済州島 (韓国) に決定したことが高田委員長より報告された。

3) その他

IUCr 2020 に似せた “Crystallography 2020” と称する typical “predatory” conference と思われるアナウンスが出回っていることから、できるだけ多くの会員に注意を促すようにしてほしい

との要望が高田委員長より出された。

3. 物理学委員会・化学委員会合同結晶学分科会

1) 来年度の活動計画について

① 日本結晶学会 70 周年年会にリンクしたシンポジウムの共催について

- i) 2020 年度日本結晶学会年会（第 70 周年記念大会）およびシンポジウムの準備状況について
下記の要領で 2020 年度日本結晶学会年会の開催準備が進められていることが菅原委員長より報告された。

場所：茨城県つくば市 つくば国際会議場

開催日：11 月 27 日～29 日

年会実行委員長：西堀英治（筑波大学）

プログラム委員長：足立伸一（高エネルギー加速器研究機構）

また、70 周年特別企画は、企画委員会委員長を栗栖源嗣氏（大阪大学）として、11 月 28 日に開催予定（公開）であること、本分科会との共催を打診し、了解が得られていること、企画委員会に本分科会より山縣委員、菅原委員長が参加予定であることが報告された。1 日を 3 セクションほどに分けて、公開講座、ワークショップ、これからの世代へ向けた企画（高校生の発表等を含む）などを行うこと、話題として「結晶の近未来（仮題）」 Cryo-EM（生物）、MicroED（化学・薬学）、超高分解能電子顕微鏡（材料）、次世代放射光施設、X線自由電子レーザー、AI などの話題が検討されていることが報告され、了承された。

- ii) シンポジウムの内容について、意見交換を行った。

② 意見の表出について

上記シンポジウムを受け、意見の表出を来期（第 25 期）早々に行う方向で準備を進めていくことが菅原委員長より提案され、承認された。

2) その他

① マスタープラン 2020 について

9 月 14 日～16 日ヒアリング実施されたこと、科学者委員会研究計画・研究資金検討分科会において、審議が進められ、2020 年 1 月頃策定予定であることが菅原委員長より報告された。また、マスタープラン 2017 に掲載された「官民地域パートナーシップによる次世代放射光施設の推進」のその後（平成 30 年度より具体化）について、高田委員から報告があった。

② 「情報科学との融合による新化学創成」提言について

2019.9.4 現在の提言（案）が示され（当日配布資料）、第 3 部査読中であることが菅原委員長より報告された。

② 第 25 期会員・連携会員推薦依頼について

日本学術会議事務局から既にメール配信により依頼のあった第 25 期会員・連携会員推薦について積極的な推薦の依頼が菅原委員長よりなされた。また、本会が「物理委員会・化学委員会合同結晶学分科会」であるが、物理委員会所属の委員が減っている現状を踏まえ、会員推薦についても分野へ配慮が必要であること、および、分科会を物理委員会の日程へ配慮した開催日程とするなどの工夫が必要との意見が菅原委員長よりなされた。

3) 次回の開催予定

分子研所長招聘会議にあわせて 2020 年 5 月に開催の予定。

配布資料

- 資料 1 化学委員会 IUCr 分科会 (第 24 期・第 3 回)・物理学委員会・化学委員会合同結晶学分科会
(第 24 期・第 3 回) 合同分科会議事録
- 資料 2 Circular P-NC 19-01 from the IUCr President
- 資料 3 提言 「化学・情報科学の融合による新化学創成に向けて」(2019 年 9 月 4 日版)

以上